

海の幸・山の幸を次世代へ繋ごう



亀翔会



鬼太鼓



寒ぶり大漁まつり



バーベキュー



海岸掃除



田植え体験

ミッション名：暮らしてみたい・帰ってきたい地域づくり！！

着任地域：佐渡市鷺崎

・着任地紹介

鷺崎集落は佐渡市の最北端に位置し、春には大野亀での「カンゾウ祭り」、夏には佐渡市が誇る絶景の一つである「二ツ亀で海水浴」、秋には佐渡の中でも定評のある「鷺崎米」で舌鼓、冬には「寒ぶり大漁まつり」が開催され、四季を通してイベントが盛りだくさんあります。

特に冬の寒ブリは氷見ブリにも劣ることもなく佐渡ブランドとしても有名になってきています。

しかしながら、若者の流失に歯止めがかからず、小・中学校も存続の危機を迎えており、現在は小学校・中学校が統合され一つの校舎で学んでいて、児童・生徒は島外からの離島留学生がほとんどを占めています。

学校行事の一つとして地元で獲れた魚を使って「魚捌き」体験をしたり、田植え、稲刈り体験をしながら楽しく学んでいます。

・世話人

鷺崎集落長 齊藤之男（さいとうゆきお）写真左
鷺崎副集落長 岩脇秀樹（いわわきひでき）写真右
が3年間お世話をします。



○解決したい課題・事業（ミッション）

- ・寒ぶり大漁まつりの運営・企画のお手伝い
- ・離島留学生の募集・移住（留学）のお手伝い、移住後の家族のフォロー・アドバイス、空き家対策及びあっせん
- ・農作業・漁業の効率化・販路の拡大・新たな農法・漁法の模索
- ・観光客に農業体験、漁業体験の企画立案

○3年後に目指す姿（当該地域・協力隊員）

- ・高齢化により後継者の減少が続いていて、農業・漁業が廃れていくのが近未来の姿のように思える。就労場所の確保を含め、農業・漁業の共同作業（法人化）、の模索。
- ・小中学校・保育園の存続を目指し、離島留学生・転入者を迎え入れられる地域。
- ・地域全体で鷺崎米等の作付けをしながら、ブランド化を目指す。
- ・高齢化により漁業後継者が少なくなっている漁業の新規就業者の受け入れ。

○協力隊に求めるスキル（人物像）

- ・コミュニケーションが取れて、地域住民との活動に積極的に参画できる人
- ・地域生産物の新たな販路、販売方法の開拓
- ・地域の未来像を発掘して新たな事業を模索
- ・PCに多少詳しい（興味がある）、SNS発信、HPの開設・運営等